

# 平成 29 年度

## 第 1 回 豊見城市景観まちづくり塾 <実施概要>



### 字豊見城地区の魅力をみつける景観まちあるき ～赤瓦ちょーびんさんのガイドと共にまちあるき！～

豊見城市では、平成 25 年から景観に関する基礎調査や景観まちづくり塾などを行ってきました。平成 29 年 9 月に「豊見城市景観計画」を策定、平成 29 年 10 月には「豊見城市景観まちづくり条例」も制定されました。

字豊見城地区においては、平成 26 年度より景観まちづくり塾等を通じて景観づくりに取り組んできました。昨年度より「住民懇談会」と「景観まちづくり塾」の場において、景観形成重点地区の検討を進め、去った 8 月には、重点地区指定後の景観まちづくり活動を実践することを目的とした「字豊見城地区人づくり街づくり協議会」が発足しました。

今年度は、字豊見城地区をフィールドに全 4 回の「同協議会」、全 6 回の「住民懇談会」、全 3 回の「景観まちづくり塾」の開催を予定しており、去った 11 月 5 日（日）に第 1 回景観まちづくり塾が開催されました。

#### 開催概要

- 日 時 平成 29 年 11 月 5 日（日）  
14:00-17:00
- 場 所 字豊見城公民館
- 参加者 17 名（字豊見城住民：7 名、豊見城市民：7 名、その他：3 名）

#### プログラム

1. 開会あいさつ
2. オリエンテーション
3. 豊見城市における景観まちづくり（説明）
4. 字豊見城地区の魅力をみつける景観まちあるき～赤瓦ちょーびんさんとまちあるき！～
5. まちあるきでの発見と感想の共有
6. 閉会

#### 今年度の景観まちづくり塾のスケジュール

第 1 回 景観まちあるき  
11 月 5 日（日）  
14:00-17:00

第 2 回 県内先進地視察  
11 月 19 日（日）  
13:00-17:00

第 3 回 景観づくり実践  
12 月 10 日（日）  
13:00-15:00



赤瓦ちょーびんさんにガイドしていただきながら、字豊見城の景観資源をめぐりながらまちあるきを行いました。



集落に残る石垣



豊見城の偉人、嘉数親雲上のお墓



水タンク



## 珍しい型の花ブロック





馬場跡からの眺望



馬場跡のガジュマルの樹



フスミ御嶽とフスミガー



ノロ殿内



貴重な泰山石敢當



ヒージャーガー



大屋（ウフヤー）



まちあるき後はグループ毎に発見を共有

## 参加者の感想

- ・ 沖縄の事を知っているようで知らない事が多いことに気づかされ、勉強になりました。
- ・ 地元ではあるが、初めて認識したものが多かった。
- ・ 馬場は豊見城城下にある主要なものとして、今後説明板などの設置が望まれる。景観地区として、馬場の整備までできると良いと感じました。
- ・ いつもは車や速足で歩いているので、地元のよさ、アイデンティティーをゆっくりと街歩きで見返すことができました。ほんとに「不思議発見豊見城」バージョンを楽しませていただきました。泰山石敢當やぼん字の碑にはあらためて不思議発見でした。
- ・ ちょーびんさんにいろんなポイント(地域の資源(景観・歴史))を紹介していただき、大変勉強になった。ただの紹介ではなく、歴史や風習などと結びつきの解説で時間があつという間に経った。地域の方も関心を持たれてまち歩きされていたので、本当に良かったと感じた。
- ・ 字豊見城、市の歴史を理解したい。
- ・ 70代になって初めて歴史上の地を学びました。民家の石垣・ブロックに各々のデザインがあること。石敢當が中国との歴史上のつながりがあることを知って驚いた。アメリカ世、戦後の街づくり、人々の生活とのつながりが現れている。今後、関心を持って道路を歩きながら、実感したい。
- ・ 全コースを回りきれなかったのが残念。
- ・ 豊見城が首里との係わりが深い地域だということが知れてよかった。石敢當、梵字など、いろいろな魔除け、石積みなど、石に関わるものを多く視ること、知ることができてよかった。
- ・ 字豊見城の城下町の魅力が発見できた。
- ・ 新しい発見が少しありました。
- ・ 集落内を歩き、再発見がありました。特に大家の木など保存してもいいと思うが。色の統一なども今後の課題があるのかな？文化財の説明板なども今後は設置の必要ありかな？
- ・ 時間が足りなくて、回れない箇所もあったが、ちょーびんさんの説明がわかりやすくユーモアたっぷりだった。充実した時間をいただき、ありがとうございました。
- ・ 最近できた沖縄空手会館も取り入れてほしい。
- ・ 梵字の石敢當が印象に残った。これをどう利用するかの知恵が必要。空手会館との連携をどうするか？
- ・ ご苦労さんでした。赤瓦屋根と石垣囲いとひんぷんのセットは大事にしたい。
- ・ みどりが多い。シーサーのはなし。石敢當のはなし。
- ・ 景観的な要素がかなり多く残っている。建て増した家について、わりかし赤瓦等を取り入れている。景観に対する意識が高い地域の様に思われる。景観に対する意識を高めて、建物の建て替え時に手遅れのない様にしたい。
- ・ ちょーびんさんの解説が聞きやすく、勉強になった。地域の歴史や資源等を解説付きでマップ化してみたいという意見が挙がった。子どもたちにも地元のことについて、早いうちから勉強してほしい。今も残るもの(資源だけでなく、小学校の校歌など)と地域の歴史とがどう結びついているかなどを調べていくと大人だけでなく、子どもたちも地域に興味を持ってもらえるのではないかな？
- ・ 歴史(御嶽・ガー・石敢當・梵字・赤瓦)と緑(樹木・花)をうまく保全。地域に親しみやすいヒージャーガー。子どもたちにも興味を持ってもらいたい。
- ・ ノロ殿内の大木(アコーの木)がすばらしい。字のシンボルになりえる。バックの石積みは大変古いと思う。文化財に匹敵する。地域の意識(古いものを残す)連帯を感じる。公民館に地域の大事なもののマップを作る必要がある。歴史を学び、観光につなげる。
- ・ 豊見城市の「景観まちづくり」に豊見城地域が設定されこれまで勉強会が行われていたことを知りませんでした。この地域の歴史・文化の重さを知り、私の地域も今後取り上げてもらえるよう頑張りたい。
- ・ 戦争の傷跡も一緒に残した方が良いと思う。中国だけでなく、アジアの国の影響が見られた。
- ・ 内容が盛り沢山だったので、少しコースを短くした方がよかったと思う。
- ・ 地元に住んで改めて地元のすばらしさを知った。石積みの積名を知りたかった。どこから来た積み方なのか。説明が良く、聞きやすく、とてもよかった。説明書を見ながら説明をすればもっとよかったかも。地図に番号をつけて説明をしたらわかりやすいかと。
- ・ コースを全部行けなかったのは少々残念。この集落内のまちあるきは何度も何度も行って、より地域に理解者を広げてもらいたいと思いました。

平成 29 年度 第 1 回豊見城市景観まちづくり塾＜実施概要＞ 平成 29 年 11 月

■お問い合わせ先 豊見城市 都市計画課

〒901-0292 沖縄県豊見城市翁長 854 番地 1

TEL : 098-850-5332 FAX : 098-850-6323